

横須賀市立美術館の早期完成への要望

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より横須賀市の教育につきましては、並々ならぬご理解とご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、この度は横須賀市立の美術館建設計画について、6月定例会市議会以降、福祉施設の充実・向上などを理由に美術館建設に反対をする動きがあることを聞きました。このことについては、われわれ教育に携わる者として、特に公立学校をあずかる学校運営の責任者の立場から一言申し上げなければならぬと考え、ここに意見を要望の形で表明いたします。

横須賀市には、すでに文化会館、自然・人文博物館、芸術劇場等の文化施設が存在し、これらの施設を中学校では、特別活動、部活動、更には新しく創設された総合的な学習の時間などでさまざまに利用させていただいています。これらの諸施設は、まさに子供たちにとって地域の中の貴重な総合的教育の場となっております。

このような学習の場に美術館が加わり、美しい物に直接ふれ、感動できる施設が身近に誕生することは、近年強く要望されている「心の教育」の一層の推進につながるものと確信しています。

また、観音崎は子供達にとって豊かな自然と考古学的にも貴重な財産が残されており、海辺には自然博物館、山の上には日本初の洋式灯台、東京湾の海の要である海上交通センター等の校外学習の重要な学習の場となっております。このような場所にあらたな文化施設地域型の美術館が建設されることは、横須賀の子供達にとって教育活動幅の一層の拡大につながり、いま学校教育に強く求められている生きる力の育成に大きく関わるものと期待がふくらみます。

私達、横須賀市立中学校長会は、観音崎地域に新たな構想の地域型の美術館を加え、この地域が横須賀の子供達にとって自然を満喫しながら、自然・文化等のいろいろな体験、体感が得られる総合的な学習活動が可能な場となることを願っています。

そのためにも、観音崎における横須賀市立の美術館の早期完成を願い、ここに要望いたします。

平成15年7月18日

横須賀市立中学校長会 会長 北村 澤 三 郎



横須賀市長 沢田 秀 男 様